

「敗戦記念平和講演会」のお知らせ

＊五二年前の八月、日本は敗戦を経験しました。その時、「これからは、私たちの日本を、軍事基地や軍需産業のない平和な国にしなければならぬ」との決意を致しました。尊い願いでした。

＊これと同時に、戦争と軍隊を放棄した日本国憲法が制定され、平和国家日本を建設する希望に胸をふくらませたのでした。

＊しかし、それは「一億総懺悔」という言葉にごまかされ、漠然と「戦争反対、平和を望む」というだけで、戦争の、侵略・加害の責任を忘れていました。

＊あれから五二年。戦争への中途半端な反省しかなかった「つけ」が、今、廻って来たようにも思います。この浜松にAWACS配備が決定し、再び基地の拡大強化が始まったこの時、改めて、戦争の愚かさを弁え、本当の平和を共に考えようではありませんか？

「御案内」

◎日時 一九九七年八月十日（日）午後二～四時

◎会場 遠州教会（浜松市紺屋町三〇一～十五）

◎講演 「二一世紀の平和をめざす」

◎講師 小川武満先生（全国平和遺族会会長）

＊従軍医師として戦争に参加。その反省の中から、医師としてキリスト教牧師として平和運動に邁進。

＊共催…キリスト教関係者有志、浜松市憲法を守る会、平和遺族会等。

＊問い合わせは、遠州教会（電話 四五三〇四五九〇）：小林まで。